

海岸・河川の南海トラフ地震・津波対策の促進

～県都・高知市の被害の最小化のために～

◆県人口の約45%が集中するとともに、都市機能が集積する県都・高知市の被害最小化に向けた浦戸湾（高知港）の地震・津波対策

浦戸湾の地震・津波対策（三重防護+二級河川）

- ①防波堤の延伸と粘り強い化
- ②浦戸湾湾口部での防波堤整備と海岸堤防の耐震対策・嵩上げ
- ③浦戸湾内の海岸堤防の耐震対策・嵩上げ
- ④浦戸湾に流入する河川堤防の耐震対策・嵩上げ



【三重防護及び河川堤防などの耐震・嵩上げによる整備効果】

現状で南海トラフ地震が発生すると…

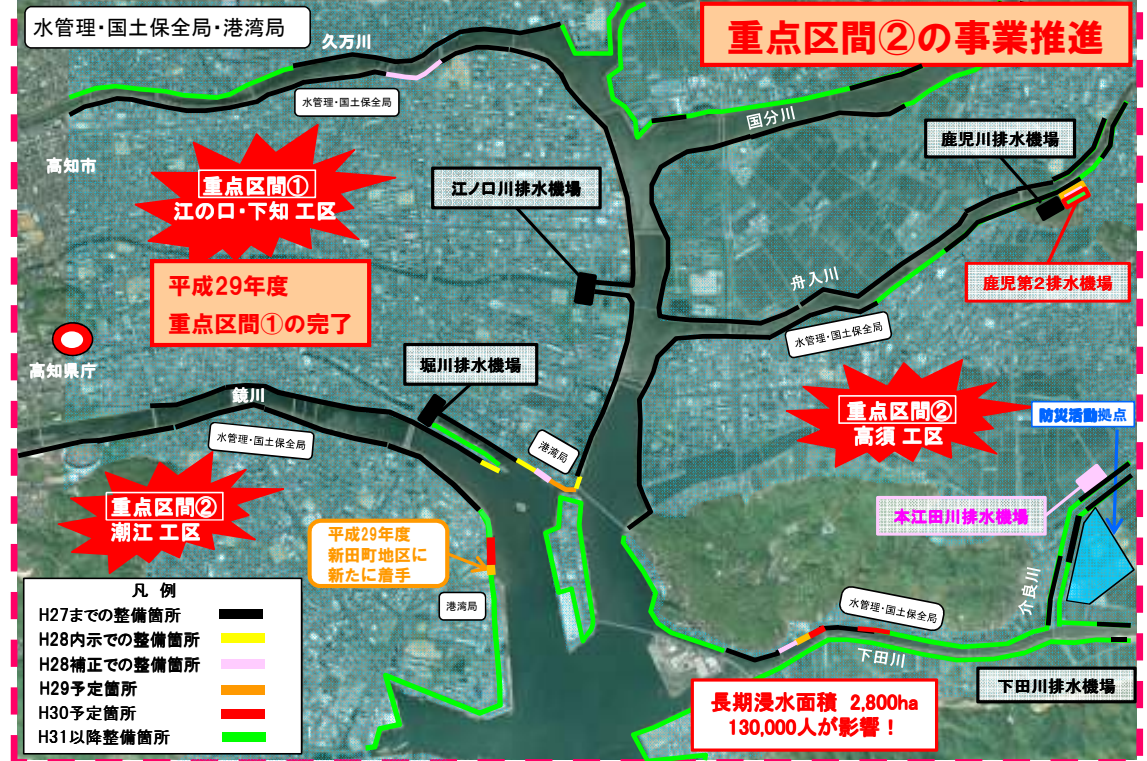
- ◆2,800haの長期浸水
- ◆約1カ月半の長期浸水
- ◆13万人の長期避難

→

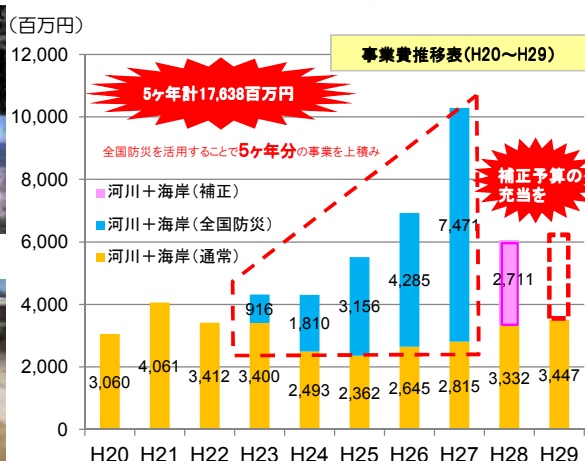
三重防護及び河川堤防などの対策が完了すると…

- ◆L1津波の進入を防止し、被害がゼロに！
- ◆L2津波に対しても長期浸水が10日あまりで解消され、社会経済活動の早期の回復が可能に！

（H29までに、海岸・河川堤防について重点区間①の完了、排水機場9箇所のうち8箇所の耐震化を完了）



（長期浸水対策のため、河川堤防については耐震対策を先行実施中）



◆政策提言◆

- ・特に緊急性・重要性の高い一連区間の地震・津波対策を早期に完了させるため、本年度の補正予算と来年度予算の重点配分をお願いします。
- ・さらに、強靱な国土形成に向けた新たな財政支援制度の創設をお願いします。